

感染症情報 10月2日～8日

府下小児科200療機関(堺市19)から

①感染性胃腸炎	606例(堺市	34例)
②RSウイルス感染症	453例(堺市	37例)
③溶連菌感染症	328例(堺市	22例)
④手足口病	135例(堺市	6例)
⑤突発性発疹	92例(堺市	5例)

府下インフルエンザ定点306医療機関(堺市29)から

インフルエンザ	88例(堺市	10例)
---------	--------	------

が報告された。

感染症報告数は前週比3.2%減の1,867件であった。

報告の第1位は感染性胃腸炎で、以下RSウイルス感染症、溶連菌感染症、手足口病、突発性発疹の順であった。

感染性胃腸炎は府下で前週とほぼ同数、堺市で前週比10%増であった。RSウイルス感染症は府下で前週比4%減、堺市で3%減であった。定点当たりで見ると、前週が2.4で、今回は2.3であった。溶連菌感染症は府下で前週比10%減、堺市で前週28例→今回22例であった。手足口病は府下で前週比11%減、堺市で前週5例→今回6例であった。

インフルエンザは府下で前週43例→今回88例で、104%増であった。堺市では前週7例から今回は10例に増加した。定点当たりでは0.3である。

麻疹や風疹の報告はなかった。